

○議長（森 弘秋君） 7番 前原英石君。

○7番（前原英石君） 7番前原でございます。今定例議会に通告をしております質問は、古越村長の所信と現状についての質問が1点目、それとワクチン接種についてが2点目の質問となります。それぞれ答弁をよろしくお願いいたします。

最初に、古越村長の所信と現状について伺います。

古越村長は、昨年12月の村長選挙に向け、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」「チーム“ふなはし”で新しい時代にチャレンジ」を大きなスローガンに掲げられ、見事初当選をされました。

選挙用のリーフレットや選挙用はがきには、選挙に向けて、安心・安全なまちづくり、未来へつなぐまちづくり、住民主役の村づくり、透明性のある村づくり、地域で支えあう村づくりなど幾つもの選挙公約を掲げられておりました。また、それらの公約には、事細かく今後取り組まれるであろう施策が紹介されておりました。

今後それぞれの実現に向け行政をリードしていかれることと思います。私も村長の今後の手腕に大いに期待するものであります。

そこで、それらの公約に対し、これからどのように進めていこうと考えておられるのか、所信と今後の抱負についてお聞きします。

また、今定例議会は就任後初の定例議会となりますが、コロナ禍に就任され、就任直後からコロナ対策、豪雪対策、農業用ハウス倒壊に対する対策や補助、ワクチン接種に対する対応など、次から次へと起きる大きな事案に奔走されてきておられることと感じております。ほかにも直面する重要課題もあり、多難な船出といっても過言ではないと思います。

しかし、村長として避けて通ることはできません。直面する課題を迅速に解決していただきたいと思っております。就任されて以来、今日まで行われたそれぞれの課題解決に向けての取組、対応や今後の対策についての現状についてお聞かせください。

次に、ワクチン接種についてお聞きします。

県内では、2月19日にワクチン先行接種が高岡ふしき病院、富山労災病院で行われ、3月4日からは新型コロナウイルスワクチン優先接種が始まりました。

舟橋村のワクチン接種に関することについても報道されておりましたが、その詳細については住民も関心の高いところであると思います。

県内の動きといたしましては、接種時期については、2月中旬から医療従事者等への

接種が始まっております。

接種対象・順位については、医療従事者、高齢者（令和3年度中に65歳に達する昭和32年4月1日以前に生まれた方）、次に基礎疾患を有する方々（高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方）、次にそれ以外の方の順に進めていくと言っております。

接種回数は2回、見込みということで出ておりました。接種費用については無料（全額公費）。ほかにも、接種を受ける際の同意や接種を受けた後に副反応が起きた場合、予防接種健康被害救済制度、接種を受けられる場所、接種を受けるための手続などが紹介されておりますが、これらについて舟橋村では現時点でどのようになっているのかご説明を願います。

住民向け接種の詳細については、各市町村のホームページ等で確認してくださいと紹介されておりますが、現在、舟橋村は準備中となっております。いつ頃からワクチン接種に関するページを見られるようになるのかお聞きします。

まだ確定していないこともあると思いますが、決定したことについては随時ホームページ、広報などで発信していただきたいと思っております。

本格接種が始まり混乱が起きないように、万全の体制で臨んでいただきたいと思っております。万全といっても、このようなことは初めてのことで、想定外のことが起きないとは言えません。そんなときでも住民に不安を与えることなく、沈着冷静に対応していただきたいと思っております。

最後に、村民の接種率はどのくらい見ておられるのか。当初は接種を希望しない方が後に希望された場合の対応や、接種当日、健康不安があり接種に行けない方々の次回の対応、先行接種を受けている舟橋村の医療従事者や医療関係者などの情報等については関係機関と情報の共有がなされているのかも含めてお聞かせください。

以上で質問を終わります。

○議長（森 弘秋君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 7番前原議員さんのご質問にお答えさせていただきます。

村長に就任いたしまして、約2か月が経過いたしました。私はこの4年間で、「みんなで創ろう「ふなはし」 チーム“ふなはし”で新しい時代にチャレンジ」を合い言葉に政策を進めてまいることしております。医療、福祉や防災、教育や子育てなど様々な分野で課題が山積しておりますが、まずはそれぞれの実情と課題をしっかりと把握した

上で、村民の皆様のご意見をより幅広くお伺いいたしまして、必要な施策を着実に推進してまいりたいと思っております。

そして、村民の皆様がもっと安心して笑顔で過ごすことができる地域社会の実現のため全力で取り組んでまいり所存でございますので、議会の皆様のご指導、ご理解をお願いいたしたいと思っております。

次に、就任後から今日までの緊急を要する主な事業の進捗についてでございます。

まず、喫緊の重要課題は、いよいよ4月以降、高齢者から順次始まるワクチン接種でございます。現在、村内には医療機関がございません。その中で、村民の健康と命を守るかがいかに大切かということが大きな課題でございます。

そこで、就任後には、上市町さん、立山町さん、中新川郡医師会さんとお話をさせていただき、かみいち総合病院での集団接種を行うことで合意をいただくことができました。現在、関係機関と協議を進めている最中でございます。

また、村民の皆様からは、早く詳細を知りたいとのご要望も多くいただいているところではございますが、スケジュールや手順など、国や県からの情報もまだまだ不足しているところもございまして、正確にお答えできない部分もたくさんございます。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症への対応は非常に重要な問題であると認識しておりますので、最優先事項と位置づけまして、全庁を挙げて取り組んでいるところでございます。

今後とも、広報紙やホームページ等を通じて正確な情報を迅速に発信してまいりたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

次に、豪雪対応のことでございます。

今年は、年明けから1メートルを超える大雪となりました。近年にない大雪であったために除雪は遅れ、特に県道などの幹線道路では渋滞や通行止めが多発し、鉄道などの公共交通も運行を停止するなど、郵便や配送も遅れがちになり、スーパーでは品薄な状態が続くなど、住民の皆様のご生活に大きな影響と混乱を生じる事態となりました。

村長就任後には、村内の現場確認の上で、除雪車の追加依頼をはじめ早急な除雪作業を指示し、村民の皆様のご協力もいただきながら作業を進めてまいりました。

また、この大雪によりまして、村内各地で農業用ハウスや農機具、棚などの被害が出ましたので、これらにつきましても、現地確認を行った後、担当課に被害額や対応策の確認・検討指示を出し、村補助案を策定いたしまして、当該事業に係る費用を今定例会

に提案させていただいたところでございます。

なお、県内他市町は来年度予算での対応と聞いておりますが、春作業も目前となっておりますので、本村では、農業支援の観点から、2年度補正予算で対応してまいりたいと考えております。

そして、これらの事業に関して、実際に現場を確認したり、関係団体に直接依頼するなど、自ら動くとともに関係の課に指示をしてまいりました。

今後とも、緊急性を判断しながら優先順位をつけて各事業に取り組んでまいりたいと思っておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

そして、今ほどご質問がありました所信につきましては、臨時議会におきましてご説明もさせていただきましたので、またそれをご覧いただければ大変助かるなというふうに思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（森 弘秋君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 7番前原議員の新型コロナウイルスワクチン接種についてのご質問にお答えいたします。

ワクチン接種についての国から示されている情報につきましては、3月の定例会の提案理由説明で申し上げたとおりで、2月17日から医療従事者を対象に先行接種が始まり、この後4月12日以降に一般住民向けの集団接種が始まる予定であります。

ワクチン接種は16歳以上の方を対象としたもので、お一人につき計2回の接種をしていただく必要があり、接種費用については、自己負担はございませんが、接種は受ける方の同意が必要となります。

また、接種順につきましては、初めに医療従事者、次に65歳以上の高齢者、そして高齢者以外の基礎疾患を有する方と高齢者施設等で従事されている方、そしてそれ以外の方への接種が順次行われる予定となっております。

本村におきましては、中新川郡の医師会並びに上市町の全面的な協力をいただき、かみいち総合病院において集団接種を実施する予定であります。

また、接種の受付を担うコールセンター業務も上市町と合同設置の予定であり、4月中の接種開始に向け、2月中旬から上市町と協議を進めております。

クーポン券につきましては、県内一斉に発行を開始することとなっており、現在、3月中の予防接種の案内と同時に発送する予定で準備を進めているところでございます。

また、接種会場が上市町となることから、65歳以上の方に対する送迎支援といたしまして、舟橋会館から総合病院までのバスの運行を計画いたしております。

また、シミュレーション等における接種率につきましては、80%で接種計画をつくってございますが、当然のことながら、100%接種をされた場合においても対応ができるような計画を進めてございます。

また、関係機関との調整ということで、例えば施設関係者、それから医療従事者、そういうところの調整を順次進めていこうというふうに考えてございます。

現時点で、国から、いついつにワクチンが入ってという具体的なスケジュールが今の段階で示されていないことから非常に不明な点が多く、住民の皆様にはご心配をおかけしておりますが、今後、詳細が決まり次第、速やかに周知活動を進めてまいりたいと思いますので、住民の皆様には、国や県、村等から発信される情報を注視していただきたいと思っております。

また、本村といたしましても、引き続き、広報紙やホームページ等を通して、正確な情報を迅速に皆様にお伝えすることができるよう努めてまいりますとともに、スムーズな集団接種の実現に向け、十分な準備を進めてまいり所存であることを申し上げまして、答弁といたします。

○議長（森 弘秋君） 前原英石君。

○7番（前原英石君） 答弁、ありがとうございました。

ワクチン接種について、ちょっと2点ほど再質問をお願いしたいと思います。

今ほど集団接種というふうに説明がございましたが、これに関しては、舟橋村民の集団接種と考えればいいのでしょうか。それが1点と、舟橋村民全員接種、その2回の接種が完全に終わるのは何月頃というふうに現時点では考えておられるのでしょうか。その2点、ちょっとお聞かせください。

○議長（森 弘秋君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 7番前原議員の再質問にお答えします。

集団接種は村民接種で、かみいち総合病院のほうにおきまして現在決まっているのは、上市町の方と舟橋村の方が同時に受けられるような形なんですけれども、舟橋村の接種日がまだ決まってございません。

したがって、枠を設けるのかどうなのか、上市町と舟橋村で合計、例えば1日200人というのは舟橋枠があつてのものなのか、それとも合同で200人という考え方

なのかも含めて、今後調整というふうな形になってまいります。

また、現状において決まっているのは、総合病院での集団接種は決まっているんですけども、上市町におけます個人医院さんがございます。今の段階で個別接種が受けられる医院は、3つの医院さんを予定してございますが、そこにおいて舟橋村の住民が受けられるかどうかというのも現在協議中でございます。

また、全員接種が終わる予定時期なんですけれども、最初は9月いっぱいというふうな話が出ていたんですけども、当然これが、接種時期がまだ見通せない状況にございます。もしかするとゴールデンウィーク明けからスタートということになってくれば、当然それが少しずつ遅れてまいりますので、現時点では11月ぐらいまでかかるのではないかという見込みを立ててございますが、これにつきましても、国からワクチンが入ってくる日程スケジュールが決まらなければ、最終的にいつ終わるかということを申し上げることが非常に困難であるという状況でございます。

以上です。